

鬼の岩屋まつり実行委員会

代表者	中野 英治 玉川 剛司
所在地	〒874-0035 大分県別府市上人西町8-2
設立年月日	2003年09月14日

【設立趣旨】

別府市教育委員会との間に管理業務に関する協定を締結し、周辺の指定域外の草木伐採・清掃を行い、周辺及び広場を維持することによって住民が憩える空間を作るのと同時に、地域のランドマーク的要素を強めるための活動を実施している。

【沿革】

地域の文化財として存在する、古墳時代後期の装飾された横穴式石室を内部主体とする古墳（鬼の岩屋古墳1・2号墳：国指定史跡）の“保存と地域住民への周知”を目的として、2003年9月14日に設立された。同年11月16日には、古墳を題材として第1回「鬼の岩屋まつり」が開催された。以後、第2回～第6回として、2004年11月21日、2005年11月6日、2006年10月29日、2007年10月29日、2008年10月26日に祭りを計画し実施した。

【活動目的】

核家族化が進んできた現在、地域の結束が希薄になってきている。そこで、国指定史跡の鬼の岩屋古墳周辺の地域住民と別府大学とが協力しあって、鬼の岩屋まつりを実施することによって、市域における文化財について住民に啓蒙し、郷土の歴史を学ぶ機会を設けることによって、地域の結束の強化を図ることを目的としている。

【活動内容】

国指定域外の清掃維持活動

別府市教育委員会との間に管理業務に関する協定を締結し、周辺の指定域外の草木伐採・清掃を行い、周辺及び広場を維持することによって住民が憩える空間を作るのと同時に、地域のランドマーク的要素を強めるための活動を実施している。

文化財としての古墳の周知活動

別府大学文化財研究所と協力して、文化財としての古墳を深く理解し、地域の歴史や地区そのものに興味を持ってもらうために、鬼の岩屋古墳のパンフレットを作成し、地域住民と祭りに参加した市民・大学生に配布することによって、地域に愛された文化財を目指し周知活動を実施している。また、『鬼の岩屋まつり』を通じ、周知活動を実施してきた結果、別府市のONSEN ツーリズム観光まちづくり室から『鬼の岩屋まつり』についてコミュニティー事業の助成金を受けることとなった。その結果、地元ケーブルテレビ・新聞等のメディアにも取り上げられ、古墳がひろく認知されることになった。

また、同地区内に「文化財学科・文化財研究所を擁する、学校法人別府大学」が存在し、第1回目の『鬼の岩屋まつり』から古墳の学問的な側面と祭りの運営について当団体と連携している。これらの連携が実を結び「別府市教育委員会」が本格的な保存・整備計画を実施し、この保存計画の学術的な分野を「別府大学文化財研究所」が協力するという三者による連携が成立している。

【活動上の課題と今後の展望】

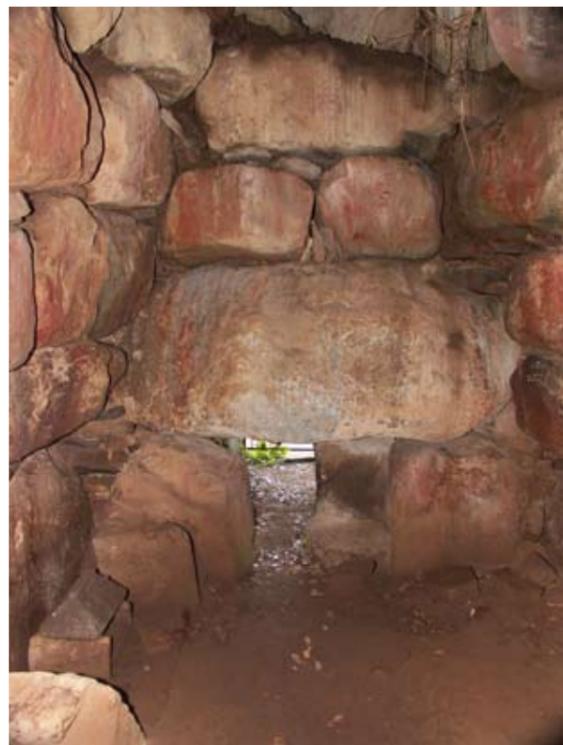
保存・整備をしたいという地域の声、別府市教育委員会に届くまでに時間を要したが、2008年度より本格的な保存整備計画が進行している。その一つが、2号墳の周辺規模確認調査に伴うトレンチ調査である。この調査により、従来考えられてきた古墳の規模より大きくなることが判明した。そこで、市教育委員会は、古墳についてより理解を深めさせるため、地域住民に向けての現地説明会を行った。



鬼の岩屋古墳1号墳石室内

一方、別府大学文化財研究所は、市教育委員会からの委託により、かねてより実施してきたデジタル測量機器を使用した詳細な3次元測量である「変化点測量法」を用いた学術墳丘測量調査を実施している。さらに、1・2号墳の石室内の温室度調査への協力など、より本格的な保存・整備の準備が整いつつある。

今後、この連携の中に地域住民の声として、この保存整備計画にも積極的に参加し、連携



鬼の岩屋古墳2号墳石室内

していくことが重要になると思われる。さらには、市域における文化財の保存活動に積極的に参加していきたい。

今年度の鬼の岩屋まつりについては、10月25日（日）に実施する予定となっている。



鬼の岩屋祭りの風景1



鬼の岩屋祭りの風景2